

# 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 アレッセ高岡

## 1、事業の成果

### (1)外国ルーツ青少年を中心とした学習・キャリア支援事業

#### 対面教室

対象：進学を希望する中学生以上の外国ルーツ生徒＋希望する日本人生徒

日時：火曜日 17:00-19:00、土曜日 9:30-11:30、13:00-15:00

内容：日本語指導、教科学習支援、社会課題への意識を高める帯活動（コメントシート）

受益者負担額：月 3,000 円

支援者への謝礼：講師は1回（2時間）1,000円＋交通費、アシスタントは交通費のみ

令和4年度指導生徒数：22名（途中入室者・退室者を含む）

内訳（人数）：大1、高校生8、中学生11、既卒2

ブラジル16、パキスタン2、中国1、フィリピン2、オーストラリア1、

延べ年間実施回数：137回（2時間1回）

延べ年間参加生徒数：559人

授業料の徴収率：89%

#### オンライン教室

対象：小学生以上の外国ルーツ児童生徒

日時：水曜日 17:00-19:00、土曜日 15:30-17:30

内容：日本語指導、教科学習支援

受益者負担額：年 3,000 円

支援者への謝礼：なし

- 令和4年度指導生徒数：10名（途中入室者・退室者を含む）

内訳（人数）：高校生1名、中学生1名、小学生8名

ブラジル4、中国1、韓国1、フィリピン4

延べ年間実施回数：91回（2時間1回）

延べ年間参加生徒数：452人

授業料の徴収率：67%

#### 多言語で動画を作成

- 「1.正の数と負の数」のポルトガル語版、中国語版、英語版、やさしい日本語版をyoutubeにアップ済み。  
「2.正の数と負の数の足し算と引き算」は中国語版の録音・録画を終え、編集中。英語版は音声録音準備中。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL8xopZ3WDgFiPmNZU9v6m8ztwGqwkODVW>

- 話し合い・作業（撮影・録音・動画編集等）@高岡向陵高校国際部：

4月2日、4月14日、5月5日、5月26日、6月16日、9月29日、

## (2)外国人住民に対する多言語情報支援

### 高校進学説明会を開催

射水市で「Braves Cultural Center」の協力を得て開催。「ダイバーシティとやま」、「富山国際学院」、「トヤマ・ヤポニカ」、「勉強お助け隊」との共催となった。初めての試みとなる個別の相談会も同時に行った。

外国ルーツの保護者に多言語資料配布 32名

内訳：ポルトガル語（6組12名）、中国語（2組4名）、ロシア語（4組11名）

タガログ語（1組2名）、ウルドゥー語（1組3名）、英語（0）

「輝く未来へのステップ」＜小学校6年生向け＞（ポルトガル語6部、中国語21部、タガログ語10部、英語29部、ロシア語8部）配布

「きりひらけ！私たちの未来」＜中学校3年生向け＞（ポルトガル語23部、中国語27部、タガログ語22部、英語51部、ロシア語17部）配布

## (3)多文化共生・日本語教育に関する啓発・研修・協働事業（市民性教育講座）

### 市民性教育講座

- ・ 22.4.16 政府に届けよう！私たちの声—入管庁・外国人との共生施策パブリックコメントワークショップ—  
近江愛子氏（富山市出身、大阪出入国在留管理局職員）
- ・ 22.5.1 ワークショップ「御車山祭を楽しもう！」
- ・ 22.6.11 フィルムフェスティバル第2弾：映画祭
- ・ 22.7.23 鋳物体験ワークショップ—ものづくりのまち「高岡」を知ろう！—
- ・ 22.8.26 外国人散在地域でどう外国ルーツの子どもを支えるか？—新潟県上越市に学ぶ支援体制の作り方—  
中野博史氏（上越市立浦川原中学校校長・元上越市教育委員会指導主事）原瑞穂氏（上越教育大学 准教授）  
佐藤睦子氏（公益社団法人上越国際交流協会）
- ・ 22.9.24 セミナー&ワークショップ「実践していますか？—批判的思考・対話・多様性—」名嶋義直氏（琉球大学）
- ・ 22.10.2 IYEO北陸ブロックイベント分科会 未来のために私たちができること～違いを超えて～
- ・ 22.12.25 セミナー「日本でくらす」岡崎勝利氏（アレッセ高岡副理事長・申請取次行政書士）
- ・ 23.1.28 避難訓練&BOUSAI「知っておこう！機材を使った救助法」ワークショップ
- ・ 23.2.18-19 「SDGsアート展あなたの想いで世界を照らそう」アート展、ワークショップ
- ・ 23.3.19 ワークショップ・短編映画「高岡事件を読み解く会」@ほとり座
- ・ 23.3.30-31 「IKUNO・TAKAOKA外国ルーツ青少年多文化キャンプ2022」 共催：IKUNO多文化ふらっと

2020年度より始まった(公財)日本国際交流センターの「外国ルーツ青少年未来創造事業」の最終年を終えた。映画祭の開催やSDGsアート展、4年ぶりの対面での高校進学説明会では、予想以上の参加者にお越しいただき関心の高さを感じた。3年間の事業を通して今までつながりを持てていなかった経済界の団体や防災訓練に尽力いただいた消防署関係の方々、地域住民の方などとも関係を築くことができ、外国ルーツ青少年の教育の課題を共有できたと自負している。コロナ感染症が下方傾向になったことにより、定期的に市民性教育講座を開催でき、11月には「富山県ふるさとづくり賞」大賞（明日の富山県を創る協議会）、2月には「地球市民賞」（国際交流基金）を受賞することができた。

組織基盤の強化、資金調達、マンパワー不足など事業を継続するための課題は山積しているが、歩みを止めず進んでいきたいと考える。外国ルーツ青少年の教育課題の解決はまだ道半ばであり、次年度はニーズ調査を行い外国ルーツ青少年の学びの選択肢を増やすことができるよう働きかけたい。

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：円)
(1) 外国ルーツ青少年を中心とした学習・キャリア支援事業	CLD 青少年への対面授業による学習支援	(A)毎週 火曜 17:00~19:00 土曜 9:30~11:30, 13:00~15:00 (B)ニッセンビル (C)15名	(D)250名 (E)22名	3,299,838
	CLD 青少年へのオンライン授業による学習支援	(A)毎週 水曜 17:00~19:00 土曜 15:30~17:30 (B)事務所および自宅他 (C)20人	(D)750名 (E)10名	
	多言語での教科学習動画の作成	(A)不定期 (B)オンライン (C)7名	(D)200名 (E)再生回数 105回	
(2) 外国人住民に対する多言語情報支援事業	高校進学説明会の開催	(A)11月19日 (B)射水市 Braves (C)20名	(D)200名 (E)32人	528,691
	外国ルーツの保護者・青少年への多言語資料配布	(A)年一回 (B)希望者に配布 (C)3名	(D)800名 (E)214名	
(3) 多文化共生・日本語教育に関する啓発・研修・協働事業	市民性講座の開催	(A)年12回 (B)ニッセンビル 一回のみほとり座 一回のみ大阪市 (C)50名	(D)1,000名 (E)278名	4,849,621
	映画祭の開催	(A)6月11日 (B)高岡市ふれあい福祉センター (C)40名	(D)10,000名 (E)187名	
	SDGs アート展	(A)2月18日19日 (B)ニッセンビル (C)10名	(D)1,000名 (E)69名	